

第1日 9月19日(日) 9:00~10:30

時間	A会場 300 果樹 I	B会場 303 果樹 II	C会場 304 果樹 III	D会場 101号(大講義室) 野菜 I	E会場 201 野菜 II	F会場 301 野菜 III
9:00	<p>遺伝育種(ナシ) 松本辰也</p> <p>果 001 東北地方より収集したナンシ遺伝資源(第5報)エチレン生成量の多様性とその関連形質 ○浜亮介¹・板井章浩²・片山寛則¹(¹神戸大院農食資源センター,²鳥取大農学部)</p>	<p>バイテク1 金山喜則</p> <p>果 022 ナンシにおける遺伝子発現とゲノム機能解析8.次世代シーケンサを用いたニホンナシ EST の収集 ○西谷千佳子・清水徳朗・藤井浩・保坂ふみ子・寺上伸吾・山本俊哉(農研機構果樹研)</p>	<p>病害防除 小原 均</p> <p>果 044 シクロデキストリン包接の植物オイルによる病害虫防除効果 ○石井孝昭・杉本直美・松原智子・清水一夫・クルスアンドレフレイリ(京都府立大院生命環境科学研究科)</p>	<p>遺伝子解析・育種(トマト) 福岡浩之</p> <p>野 001 ネギにおける花成制御関連遺伝子の発現及びゲノム構造解析 ○尾崎啓太¹・畑中隆介¹・伊坂雅孝²・福本明彦²・白岩裕隆³・執行正義⁴・板井章浩¹(¹鳥取大農学部,²鳥取農林総合研究センター,³鳥取県農大,⁴山口大農学部)</p>	<p>生育生理・栽培(キュウリ) 森山真久</p> <p>野 028 葉菜類のアンモニア代謝機能に関する研究-アンモニア代謝に及ぼすグルタミン合成酵素(GS)阻害剤処理の影響- ○名田和義・神田亜佐美・永田憲司・平塚伸(三重大院生物資源学研究所)</p>	<p>養液栽培1 鎌谷 明</p> <p>野 055 養液栽培による機能性葉菜としてのゴマの周年栽培の可能性 ○伊達修一¹・畑中樹²・山元えみ¹・寺林敏¹(¹京都府大院生命環境科学研究所,²大阪大院工学研究所)</p>
9:15	<p>果 002 ニホンナシ種子の成長および発芽力の獲得時期 ○渡邊辰彦・石坂晃・牛島孝策¹(福岡農総試,福岡農総試果樹苗木)</p>	<p>果 023 次世代シーケンサを用いたニホンナシ EST の大規模解析 ○寺上伸吾・西尾聡悟・高田教臣・澤村豊・西谷千佳子・齋藤寿広・山本俊哉(農研機構果樹研)</p>	<p>果 045 アーバスキュラー菌根菌,<i>Glomus clarum</i> の胞子から分離した <i>Pseudomonas</i> sp. が菌根菌の生長,土壌病原菌に対する抑制,リン溶解能および窒素固定能に及ぼす影響 ○クルスアンドレフレイリ¹・清水一夫¹・佐藤修正²・田畑哲之²・石井孝昭¹(¹京都府立大院生命環境科学研究科,²かずさ DNA 研究所)</p>	<p>野 002 トマト果実発達におけるγ-アミノ酪酸(GABA)の生理機能と代謝経路の解明 ○松倉千昭¹・尹永根¹・冨永剛広¹・飯島陽子^{2,4}・青木考²・柴田大輔²・声原坦³・西村繁夫¹・江面浩¹(¹筑波大院生命環境,²かずさ DNA 研,³お茶の水大院生命科学,⁴神奈川工科大)</p>	<p>野 029 キュウリ果実の発育に及ぼすCO₂施用の効果 ○木本浩・大泉利勝・川城英夫(千葉農林総研セ)</p>	<p>野 056 マイクロバブル発生方法および処理回数の違いが水耕ホウレンソウの生育に及ぼす影響 ○塚田桂太・高橋秀彰・佐藤慎一・玉置雅彦(明治大農学部)</p>
9:30	<p>果 003 ニホンナシ新品種「爽甘」の特性について 田辺賢二^{1,2}・中原士元³・田村文男¹(¹鳥取大農学部,²鳥取二十世紀梨記念館,³鳥取大院農学研究所)</p>	<p>果 024 大果変異セイヨウナシのメタボローム解析 ○及川彰¹・大塚貴生¹・松田史生^{1*}・中林亮¹・軸丸祐介¹・山口信次郎¹・斎藤和季^{1,2}・白武勝裕³(¹理研植物科学研究センター,²千葉大薬学部,³名古屋大農学部,神戸大自然科学系)</p>	<p>果 046 グルタミン酸発酵副生液による病害抵抗性誘導効果と病害防除効果の解析 ○武田泰斗¹・五十嵐大亮¹・鳴坂義弘²・戸塚一彦¹(¹味の素(株),²岡山農林水産総合生物科学研)</p>	<p>野 003 トマトの養液栽培での長期栽培による品種比較試験 ○松永啓・齊藤猛雄・斎藤新(農研機構野菜茶研)</p>	<p>野 030 選択的紫外線カットフィルムが温室内への昆虫の侵入阻害に及ぼす影響 ○西沢隆・穴戸良洋・佐々木文平・佐藤ちひろ・塩塚美・松村和之(山形大農学部)</p>	<p>野 057 水耕栽培の施設全面ベッドにおける片屋根型低棟ハウスでのネギの冬季の生長 ○越智資泰¹・柳柳武司²・長崎裕司²・今井俊哉³(¹広島総研農技セ,²近畿研,³全農)</p>
9:45	<p>果 004 早生・大玉のニホンナシ新品種「なつみず」 ○曾根田友晴・柴田健一郎・関達哉・小林正伸(神奈川農技セ)</p>	<p>果 025 マンゴーゲノミクス-オーストラリアの取り組み- ○Dillon, Natalie L.¹・Bally, Ian S.E.¹・Hucks, Louise A.¹・Wright, Carole L.²・Innes, David³・Smyth, Heather E.³・Karan, Mirko⁴・Devitt, Luke C.³・Sheikh-Jabbari, Jaffar³・Holton, Tim A.³・Dietzgen, Ralf G.³(¹クイーンズランド州 DEEDI 熱帯農セ,²クイーンズランド州 DEEDI タウンズビル事務所,³クイーンズランド州 DEEDI 農バイオテクノロジセ)</p>	<p>ブドウ1 鈴木俊二</p> <p>果 047 ブルーベリー果実の成熟に伴う香気の変化について ○藤田和樹¹・大沼昌子²・清水智恵³・池浦博美²・小林史幸⁴・荻原勲³・早田保義²(¹明治大院農学研究所,²明治大農学部,³農工大農学部,⁴日歐大応用生命化学部)</p>	<p>野 004 トマトの複合抵抗性品種および感受性品種の DNA 多型比較 ○津金嵐昭¹・鈴木秀章¹・柴田大輔²・片瀬雅彦¹(¹千葉農林総研セ,²かずさ DNA 研)</p>	<p>野 031 水耕栽培における施肥および培地の差異が「毛馬」キュウリの苦味発現および品質に及ぼす影響 ○嘉悦佳子¹・森川信也¹・蔵部武志¹・阿部一博²・中村謙治³(¹大阪環農水総研,²大阪府大院生命環境科学研究科,³エスベックミック(株))</p>	<p>野 058 様々な LED を利用したリーフレタスの栽培方法と高付加価値化技術の開発 ○谷口成紀^{1*}・下川陽大¹・清澤正彦²・大山敏雄³・山内直樹¹・執行正義¹(¹山口大農学部,²キュービリーフテクノロジーセンター,³野菜工房,*トリコン)</p>
10:00	<p>遺伝育種(カンキツ) 奥田 均</p> <p>果 005 奄美諸島在来カンキツ類の SSR 分析 ○山本雅史¹・山崎安津²・清水徳朗²・北島宣³・久保達也¹・富永茂人¹(¹鹿児島大農学部,²農研機構果樹研,³京都大院農学研究所)</p>	<p>バイテク2 板井章浩</p> <p>果 026 オーキシン合成酵素遺伝子(iaaM,iaaH)およびサイトカニン合成酵素遺伝子(ipi)を導入した形質転換リンゴ樹の成長特性と開花促進 ○李積軍¹・小森貞男²・渡邊宇³・山下裕喜²・和田雅人⁴・壽松木章²(¹岩手大院連合農学研究所,²岩手大農学部,³岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究セ,⁴農研機構果樹研)</p>	<p>果 048 ブドウ品種のアントシアニン組成による分類と着色に及ぼす光の影響 ○宇土幸伸¹・齊藤典義¹・里吉友貴¹・三森真里子²(¹山梨果樹試,²山梨県庁)</p>	<p>育種(イチゴ) 沖村 誠</p> <p>野 005 低温遭遇後におけるイチゴ品種「ゆめのか」の花房とランナー発生について ○柳智博¹・齊藤弥生子²・渡辺太¹(¹香川大農学部,²愛知農総試)</p>	<p>栽培(ネギ) 下村克己</p> <p>野 032 寒冷地でのネギの7月どりに向けたセル成型苗による大苗育苗の最適な組み合わせ ○本庄求¹・武田悟¹・屋代幹雄²・片平光彦³(¹秋田農技セ農試,²農研機構中央農研,³山形大農学部)</p>	<p>養液栽培2 池田 敬</p> <p>野 059 閉鎖型植物工場におけるジャガイモ水耕栽培技術の開発(第2報)環境制御による塊茎形成誘導の検討および光強度が収量に与える影響 ○田坂恭嗣¹・城真一郎¹・一町田紀子²・松村健¹(¹産総研生物プロセス,²ホクレン農総研)</p>
10:15	<p>果 006 カンキツ属におけるウンシュウミカン単為結果性の育種の評価 ○根角博久¹・喜多正幸¹・太田智¹・清水徳朗¹・吉岡照高(農研機構果樹研,農研機構近中四農研)</p>	<p>果 027 ニホンナシにおける形質転換技術の開発 ○中島育子¹・伊東明子¹・齋藤寿広¹・森口卓哉¹・山本俊哉¹(農研機構果樹研,筑波大院生命環境科学研究科)</p>	<p>果 049 生食用ブドウ育種における DNA マーカーを用いた果皮着色の有無の早期選抜 ○白石美樹夫¹・村本晃司¹・千々和浩幸(福岡農総試)</p>	<p>野 006 イチゴ種子の発芽に関する品種間差 ○森利樹¹・北村八祥¹・小堀純奈(三重農研)</p>	<p>野 033 ネギ育苗時のチェーンポット種類と播種粒数が収穫期・品質・収量に及ぼす影響 ○武田悟¹・本庄求(秋田農技セ農試)</p>	<p>野 060 「防根給水のみ」による果菜類の養水分需給バランス栽培法の開発(第14報)砂培地が大玉トマト長期促成栽培の果実収量と品質に及ぼす影響 ○榎野正治¹・佐野真治²・土師聡子²(¹岡山大院自然科学研究所,²岡山農学部)</p>

G会場 401 野菜IV	H会場 200 花きI	I会場 204 花きII	J会場 201 花きIII	K会場 401 利用I	L会場 404 利用II	時間
<p>生育生理(アスパラガス) 渡辺慎一</p> <p>野 082 アスパラガス促成栽培用株の充実過程における貯蔵根の成長と糖類の変化 ○篠田光江・武田悟・田村晃²(秋田農技セ七農試)</p>	<p>カーネーション育種 石坂 宏</p> <p>花 001 胚珠培養によるカーネーションとダイアンサス属野生種との雑種作出および特性 ○馬場富二夫・石井ちか子・石井香奈子・稲葉善太郎(静岡農林研伊豆農研セ)</p>	<p>栽培・作型1 後藤丹十郎</p> <p>花 023 S-アミノレブリン酸含有肥料の施用がエゾリンドウ挿し芽苗の越冬芽形成に及ぼす影響 ○中島拓・森義雄・各務裕史・田村史人(岡山農研)</p>	<p>苗生産システム・組織培養 大城 閑</p> <p>花 047 閉鎖型苗生産システムにおける光量および底面給水がファレノプシスの生育に及ぼす影響 ○中村知佐子・松野孝俊¹・谷川孝弘・山田明日香・巢山拓郎・佐伯一直(福岡農総試, 八女普及セ)</p>	<p>食感・特性モデル 神山かおる</p> <p>利 001 音響振動による硬さ指標を用いたアボカドの食べ頃の判別と予測 ○秋元秀美¹・櫻井直樹²・岩谷真一郎²(¹広島産学地域連携セ,²広島大院生物園科学研究所)</p>	<p>収穫後生理・鮮度保持 森 仁志</p> <p>利 022 カキ‘富有’幼果における落果前後のエチレン生成の動向 ○孫寧静¹・○板村裕之²(¹鳥取大院連合農学研究所,²高根大生物資源科学部)</p>	9:00
<p>野 083 アスパラガスの半促成長期どり栽培における貯蔵根 Brix と若茎 Brix の関係 ○水上宏二¹・平田祐子²・森山友幸²(¹福岡農総試,²福岡農総試筑後分場)</p>	<p>花 002 カーネーションの花持ち性の育種に関する研究(第14報)各世代選抜系統における諸特性と花持ち日数との関係および花持ち性の遺伝率 ○小野崎隆¹・山田昌彦²・八木雅史¹・棚瀬幸司¹・柴田道夫¹(¹農研機構花き研,²農研機構果樹研)</p>	<p>花 024 エセフォン処理がエゾリンドウの開花および切り花品質に及ぼす影響 ○森義雄・土居典秀・小野俊朗・各務裕史・田村史人(岡山農研)</p>	<p>花 048 ヒメユリ(L.concolor)球根の組織培養による増殖一りん片からの子球の分化と生長に及ぼす温度、光、生長調節物質およびシロ糖の影響 ○河原林和一郎・山田幹也(静岡大農学部)</p>	<p>利 002 音響振動法を用いた様々な農産物の肉質特性の比較 ○岩谷真一郎¹・大澤雅子²・橋詰利治²・櫻井直樹¹(¹広島大院生物園科学研究所,²(株)萩原農場)</p>	<p>利 023 低温によって誘導される‘さぬきゴールド’キウイ果実の成熟はエチレンから独立している ○Salikon Nadiah・Mworia G. Eric・小田知里・牛島幸一郎・中野龍平・久保康隆(岡山大院自然科学研究所)</p>	9:15
<p>野 084 アスパラガス0および8年生株における貯蔵根中フルクタン組成の周年変化 ○遠山智之¹・鈴木卓¹・鈴木正彦¹・元木悟²・酒井浩晃²(¹北海道大農試,²長野野菜花き試)</p>	<p>花 003 カーネーションの萎凋細菌病抵抗性育種に関する研究(第15報)抵抗性新品種‘花恋ルージュ’の育成経過とその特性 ○八木雅史¹・小野崎隆¹・山田昌彦²・池田広²・谷川奈津²・柴田道夫²・棚瀬幸司²・住友克彦²・大野正之²(農研機構花き研,²元野菜茶試,³農研機構九沖農研)</p>	<p>花 025 チューリップの養液栽培における養分供給量の違いが切り花品質に及ぼす影響 ○種村竜太・渡邊祐輔・大塚英昭(新潟農総研園研セ)</p>	<p>花 049 オートクレーブとクリーンベンチを用いない簡易組織培養における微生物汚染率の低減 ○水田洋一¹・宮坂清昭²・村石悠介¹・土井元章¹(京都大農学研究所)</p>	<p>利 003 食感指標によるカキ‘富有’の果肉肉質特性評価 ○鈴木哲也¹・新川猛¹・櫻井直樹²(¹岐阜農技セ,²広島大院生物園科学研究所)</p>	<p>利 024 ‘さぬきゴールド’キウイ果実における MA 貯蔵による軟化抑制 ○Mworia G. Eric・Salikon Nadiah・小田知里・牛島幸一郎・中野龍平・久保康隆(岡山大院自然科学研究所)</p>	9:30
<p>栽培(アスパラガス) 奥田延幸</p> <p>野 085 アスパラガス半促成長期どり栽培における秋冬期茎葉黄化の簡易評価法 ○池内隆夫(香川農試三木)</p>	<p>花 004 Dianthus 野生種における芳香性育種素材の探索 ○岸本久太郎¹・八木雅史¹・小野崎隆¹・中山真義¹・大久保直実¹(農研機構花き研)</p>	<p>花 026 ユリの生育に対する二酸化炭素施用の効果 ○稲本勝彦¹・長皆香織¹・矢野孝喜¹・山崎博子¹(農研機構東北農研)</p>	<p>花 050 花卉に斑をもつセントポーリア‘タミレス’の葉身上に存在する変異細胞率の定量 ○細川孝孝¹・佐藤充¹・土井元章¹(京都大院農学研究所)</p>	<p>利 004 野菜果物における特性モデルについて(第3報)複数柿果実の呼吸量と日持ちについて ○打田宏(JA 全農)</p>	<p>利 025 SARK-IPT を導入したベチュニアおよびキク遺伝子組換え体における老化とストレス耐性に関する研究 ○中野龍平¹・吉田香織¹・須山山紀¹・Siti Hajar Noor¹・山下優¹・牛島幸一郎¹・久保康隆¹・Eduardo Blumwald²(¹岡山大院自然科学研究所,²UC Davis)</p>	9:45
<p>野 086 異なる収穫条件におけるアスパラガスの若茎糖度、ルチンおよびアスコルビン酸含量の変動 ○元木悟¹・川畑朋崇²・濱渦康範³・酒井浩晃¹・重盛勲¹(¹長野野菜花き試,²信州大農学部,³信州大院農学研究所)</p>	<p>シクラメン育種 高村武二郎</p> <p>花 005 紫色の芳香シクラメン‘弧高の香り’(Cyclamen persicum × C. purpurascens)へのイオンビーム照射によって得られた白色変異体の色素と香気成分の解析 近藤恵美子¹・中山真義²・亀有直子¹・栗原康³・谷川奈津²・森田裕裕²・秋田祐介⁴・長谷純宏⁴・田中淳⁴・石坂宏¹(¹埼玉農総研七園研,²農研機構花き研,³小川香料(株),⁴原子力機構)</p>	<p>栽培・作型2 乗越 亮</p> <p>花 027 スイートピー隔離床栽培の培地量と生育 ○柳下良美¹・原靖英¹・山元恭介¹(神奈川農技セ)</p>	<p>ウイルス・ウィロイド 細川宗孝</p> <p>花 051 ニホンスイセン(Narcissus tazetta var. chinensis)のウイルス検定法とウイルスフリー球根生産技術の確立(第1報)RT-PCRによるウイルス検定法 ○堀恵美子¹・井村亮介²・大城閑²(¹福岡農試,²福岡県立大生物資源学部)</p>	<p>品質評価法 櫻井直樹</p> <p>利 005 シンクロトロン光を利用した元素分析による有機栽培タマネギの特性解明(第1報)乾燥および新鮮試料での測定可能元素および測定値の固體間変動 ○浦田貴子¹・石橋哲也¹・中山敏文¹・富永慧(佐賀上場管農セ)</p>	<p>トマト・収穫後生理 久保康隆</p> <p>利 026 エチレン生成が強度に抑制された遺伝子組換えトマト果実の遺伝子発現解析と品質解析 ○永田雅晴¹・神尾尚子¹・野口有里紗¹・今西俊介¹・堀江秀樹¹・森仁志²(¹農研機構野菜茶研,²名大院生命科学)</p>	10:00
<p>野 087 アスパラガス改植問題に対する耐性品種はどれか? ○Rumana Yeasmin¹・西原英治¹・中松建¹・元木悟²(¹鳥取大院農学研究所,²長野野菜花き試)</p>	<p>花 006 紫色の芳香シクラメン‘香りの舞’(Cyclamen persicum × C. purpurascens)へのイオンビーム照射によって得られた赤紫色変異体の色素と香気成分の解析 ○近藤恵美子¹・中山真義²・亀有直子¹・栗原康³・谷川奈津²・森田裕裕²・秋田祐介⁴・長谷純宏⁴・田中淳⁴・石坂宏¹(¹埼玉農総研七園研,²農研機構花き研,³小川香料(株),⁴原子力機構)</p>	<p>花 028 冬春季における異なる光質による照射がダリアの生育および開花に及ぼす影響 ○鈴木勝治¹・工藤則子¹・佐藤貴裕²・佐藤武義³・山田真⁴・石渡正紀⁴・久松完⁵(¹山形農総研支産研,²山形村山総支農技普課,³山形農総研七園試,⁴パナソニック電工(株),⁵農研機構花き研)</p>	<p>花 052 夏秋コギクにおける母株の育成場所がキクわい化病の病徴発現に及ぼす影響 ○高嘉輝¹・松下陽介²・向島博行¹(¹富山農総研七園研,²農研機構花き研)</p>	<p>利 006 バイオフットンおよび遅延紫外光を利用したオオパでの非破壊品質評価 ○安藤秀樹¹・馬場正¹・山口正己¹(東京農大農学部)</p>	<p>利 027 トマト ACC 合成酵素 LeACS2 の安定化には2カ所のリン酸化部位が必要である ○森仁志(名古屋大院生命科学研究所)</p>	10:15

時間	A会場 300 果樹 I	B会場 303 果樹 II	C会場 304 果樹 III	D会場 101号(大講義室) 野菜 I	E会場 201 野菜 II	F会場 301 野菜 III
10:30	果 007 ヒュウガナツ '西内小夏' に見られた非還元花粉形成の可能性 ○本勝千歳 ¹ ・山村恵梨 ¹ ・鶴田今日子 ¹ ・安田喜一 ^{2*} ・内田飛香 ² ・國武久登 ¹ ・鉄村琢哉 ¹ (¹ 宮崎大農学部, ² 宮崎大院農工学総合研究科,九州大院生物資源環境科学府)	果 028 ビワがんしゅ病 C グループ菌抵抗性育種のための DNA マーカー開発 ○福田伸二 ¹ ・寺上伸吾 ² ・山本俊哉 ² ・中山久之 ¹ ・稗園直史 ¹ (¹ 長崎農機研, ² 農研機構果樹研)	果 050 ブドウ 'オーロラブラック' の超密植栽培における果実の収量と品質 倉藤祐輝 ¹ ・白谷惇 ² ・久保田尚浩 ³ ・福田文夫 ³ ・小野俊朗 ¹ (¹ 岡山農研, ² 岡山大農, ³ 岡山大院自然科学研究科)	野 007 イチゴ 'かおり野', '章姫' および 'とちおとめ' における雌ずいの受精能力と花粉発芽率の品種間差異 ○小堀純奈・北村八祥(三重農研)	野 034 5月どりネギ栽培における換気方法の違いが抽苔発生に及ぼす影響 ○貝塚隆史・植田稔宏(茨城農総七園研)	野 061 「防根給水ひも」による果菜類の養水分供給バランス栽培法の開発(第15報) 砂培地における中玉トマトの生育・収量と紐上置肥の溶出率 ○今野裕光・榊田正治・村上賢治(岡山大院自然科学研究科)
10:45	果 008 平戸文且 S 対立遺伝子をホモに持つ S ₁ 実生を利用した S ₀ と S ₁₀ 対立遺伝子を持つカンキツの探索 金貞希 ¹ ・森智代 ¹ ・若菜章 ² ・酒井かおり ² ・増田純一郎 ² ・梶原康平 ³ (¹ 九大院生資源科学府, ² 九大院農学研究科, ³ 九大農)	果 029 カキのプロアントシアニン制御に関与する DkMyb2 と DkMyb4 の比較解析 ○赤木剛士 ¹ ・小林省蔵 ² ・佐藤明彦 ² ・米森敏三 ¹ (¹ 京都大院農学研究科, ² 農研機構果樹研)	果 051 ポット栽培ブドウ 'デラウェア' における生育時期・LAI・日射量と水分消費量の関係 ○大畑和也・大野泰司・倉橋孝夫(鳥根農機研,島根東部農振セ)	野 008 イチゴ新品種 '桃薫' の収量性・平均果重に及ぼす摘果(摘蕾)の影響 ○野口裕司・山田朋宏(農研機構野菜茶研)	野 035 土耕小ネギ栽培における栽植密度が収量と品質に及ぼす影響 ○大仲真喜子 ¹ ・大坪亮介 ^{1*} ・吉田佳子 ¹ (¹ 大分農林水産指指セ, ² 大分豊肥振興局)	野 062 水耕栽培におけるトマト心腐れ果発生に及ぼすアンモニア態窒素ならびにカルシウムの影響 ○寺林敏・梅林哲友・伊達修一(京都府大院生環境科学府)
11:00	遺伝育種(カンキツ他) 喜多正幸 果 009 カンキツ新品種 'YN26' ○中地克 ¹ ・森口幸宣 ¹ ・藤本欣司 ² ・小澤良和 ³ (¹ 和歌山農総技セ果樹試, ² 和歌山県農業大学校, ³ 和歌山農総技セ果樹試)	バイテク 3 今井 剛 果 030 ニホンナシ S2-及び S4-RNase 周辺領域に存在する B-box タンパク質遺伝子群の比較解析 ○岡田和馬 ^{1*} ・戸中希 ¹ ・田口富雄 ¹ ・市川雄彦 ¹ ・澤村豊 ² ・中西テツ ¹ ・安田(高崎)剛志 ¹ (¹ 神戸大院農学研究科, ² 農研機構果樹研)	果 052 ブドウ 'ビオネ' の果粒肥大を目的とした赤色 LED の夜間電照方法の開発 ○齊藤典義 ¹ ・宇土幸伸 ¹ ・里吉友貴 ¹ ・阿部治 ² ・河野裕 ² ・平川寛之 ² ・市川和規 ³ (¹ 山梨果樹試, ² 山梨工機研, ³ 山梨総理研)	育種(イチゴ他) 松永 啓 野 009 栽培イチゴの四季成り性の遺伝 ○森下昌三・本城正憲・濱野恵・山崎浩道・矢野孝喜(農研機構東北農研)	栽培(タマネギ・ホウレンソウ) 若生忠幸 野 036 新たな地下かんがいシステム(FOEAS)を活用したタマネギの平畝栽培 ○古橋典子 ¹ ・吉村美沙子 ² ・片山正之 ¹ ・銭本徹 ¹ ・廣林祐一 ¹ ・日高輝雄 ¹ (¹ 山口農総技セ, ² 山口農林事務所)	生理活性物質 山崎博子 野 063 大和マナの異なる部位,生育時期および調理におけるアンジオテンシン I 変換酵素阻害活性と糖含量 ○浅尾浩史 ¹ ・西本登志 ¹ ・間島いつか ² ・奥田まみ子 ² ・鷲田和人 ² ・野本享資 ² (¹ 奈良農総セ, ² 奈良中小企業支援セ)
11:15	果 010 キウイフルーツ新品種 'さねきエンジェルスイート' の特性 ○大谷衛 ¹ ・木澤克彦 ^{1*} ・片桐孝樹 ^{1*} ・福田哲生 ^{1*} (¹ 香川農試府中分場, ² 香川農産業経営課, ³ 香川農産業生産流通課, ⁴ 香川中讃農改セ)	果 031 ヒュウガナツ自家和合性変異系統における花柱内タンパク質のプロテオーム解析 ○内田飛香 ¹ ・竹中聡 ² ・榊原陽 ² ・黒木重文 ³ ・本勝千歳 ² ・佐々英徳 ⁴ ・水光正仁 ² ・國武久登 ² (¹ 宮崎大院農工学総合研究科, ² 宮崎大農学部, ³ 宮崎総農試, ⁴ 千葉大園芸学部)	カキ 佐藤明彦 果 053 温暖化に伴うカキの着色遅延対策技術の確立(第1報) 天然型アブジン酸による着色向上効果 ○新川猛 ¹ ・鈴木哲也 ¹ ・加藤雅也 ² ・生駒吉識 ³ (¹ 岐阜農機研, ² 静岡大農学部, ³ 農研機構果樹研)	野 010 晩抽性品種との交雑による低シュウ酸ホウレンソウの抽苔性改良 ○村上賢治 ¹ ・人見奈津子 ² ・榊田正治 ¹ (¹ 岡山大院自然科学研究科, ² 岡山大農)	野 037 タマネギの生育・収量・品質・作型に及ぼすアミノ酸発酵副生液の施用効果 駒井史訓 ¹ ・森太郎 ¹ ・山田大地 ¹ ・上壁吾八 ¹ ・宮地利英 ² ・佐藤武 ² ・尾野喜孝 ¹ (¹ 佐賀大農フィールドセンター, ² 味の素(株))	野 064 ナガイモの新芋・茎・葉の糖含量に及ぼすジベレリンの影響 ○西山学 ¹ ・吉田康徳 ² ・金山喜則 ¹ ・金浜耕基 ¹ (¹ 東北大院農学研究科, ² 秋田県立大生物資源科学部)
11:30	果 011 ラズベリー 'インディアンサマー' と在来野生種ナワシロイチゴとの種間雑種の形態および果実特性 ○阿部健一 ¹ ・豆塚輝行 ^{1*} ・中村理恵 ^{1*} ・坂崎潮 ² ・小松春喜 ³ ・國武久登 ¹ (¹ 宮崎大農学部, ² (有)フローレットウエンティワン, ³ 東海大農学部, ⁴ ベルグアース(株), ⁵ 福岡農林福普セ)	果 032 開花期子房の遺伝子発現解析によるカンキツ単為結果性関連遺伝子の推定 ○清水徳朗 ¹ ・古藤田信博 ¹ ・根角博久 ² ・本多一郎 ³ ・矢野加奈子 ¹ ・喜多正幸 ¹ ・吉岡照高 ¹ (¹ 農研機構果樹研, ² 農研機構近中四農研, ³ 農研機構野菜茶研)	果 054 台木の違いがカキ '早秋' および '大秋' の初期成長に与える影響 ○原ノ後翔 ¹ ・石村修司 ² ・千々和浩幸 ³ ・黒木義一 ² ・内田好則 ² ・本勝千歳 ² ・鉄村琢哉 ² (¹ 宮崎大院農学研究科, ² 宮崎大農学部, ³ 福岡農総試)	野 011 キュウリ系統 27028930 が有するメロン黄化えそウイルスの S 株に対する抵抗性の遺伝 ○杉山充啓 ¹ ・坂田好輝 ² (¹ 農研機構野菜茶研, ² 農研機構九沖農研)	野 038 セルトレイを利用した子球育成による冬どりタマネギ栽培の省力化技術(第1報) 子球育成法の違いが子球の大きさおよび収量に及ぼす影響 ○中山敏文・富永慧・石橋哲也・浦田貴子(佐賀上場営農セ)	野 065 異なるジベレリン処理がナガイモのむがご量,収量に及ぼす影響(第1報) ○細田洋一 ¹ ・岩瀬利己 ¹ ・吉田康徳 ² (¹ (地独)青森産技セ野菜研, ² 秋田県立大生物資源科学部)
11:45				野 012 カボチャ品種における貯蔵中の成分変化 ○嘉見大助・室崇人・杉山慶太(農研機構北海道農研)	野 039 ハウス栽培ホウレンソウの輪作による盛夏期作の生育改善と萎凋病抑制—農家圃場において春期シュンギク作付け後に見られた事例— ○森山真久(農研機構東北農研)	野 066 ジネンジョ 種芋生産ほ場におけるジベレリン処理濃度および処理開始時期がむかご着生量および新芋の収量に及ぼす影響 ○番喜宏 ¹ ・平野哲司 ¹ ・中村恵章 ² ・吉田康徳 ³ (¹ 愛知農総試山間, ² 愛知農総試園研, ³ 秋田県立大生物資源科学部)

第1日 9月19日(日) 10:30～12:00

G会場 401 野菜IV	H会場 200 花きI	I会場 204 花きII	J会場 201 花きIII	K会場 401 利用I	L会場 404 利用II	時間
<p>栽培(キャベツ1) 村上健二</p> <p>野088 寒玉系キャベツの4,5月どりを可能にする栽培技術体系(第7報)4,5月どり寒玉系キャベツの最適栽培方法の検討 ○太田和宏・高田敦之・北浦健生・北宜裕(神奈川農技セ)</p>	<p>花007 紫色の芳香シクラメン‘香りの舞い’(Cyclamen persicum × C.purpurascens)の半数体へのイオンビーム照射によって得られた赤紫色変異体の色素と香気成分の解析 ○亀有直子¹・中山真義²・近藤恵美子¹・栗原康³・秋田祐介⁴・長谷純宏⁴・谷川奈津²・森田裕将²・田中淳⁴・石坂宏¹(¹埼玉農総研セ園研,²農研機構花き研,³小川香料(株),⁴原子力機構)</p>	<p>花029 単波長のLED照明が数種の鉢物の生育に及ぼす影響 ○新井聡・大石一史(愛知農総試)</p>	<p>収穫後生理 棚瀬幸司</p> <p>花053 小ギクつばみ期採花切り花の開花処理における気温、光強度および日長が開花および切り花品質に及ぼす影響 ○山中正仁¹・水谷祐一郎¹・小山佳彦¹・仲照史²(¹兵庫農総セ,²奈良農総セ)</p>	<p>殺菌・鮮度保持 吉田 誠</p> <p>利007 オゾンマイクログラブルの発生方法の違いが殺菌に及ぼす影響 ○後藤知大・斧実穂・玉置雅彦(明治大農学部)</p>	<p>利028 ACC合成酵素の脱リン酸化に関するプロテインホスファターゼの同定 ○上吉原裕亮・森仁志(名古屋大院生命農学研究科)</p>	10:30
<p>野089 寒玉系キャベツの4,5月どりを可能にする栽培技術体系(第8報)定時・定量出荷のための生育モデル利用の検討 ○高田敦之¹・太田和宏¹・北浦健生¹・北宜裕¹・岡田邦彦²(¹神奈川農技セ,²農研機構野菜茶研)</p>	<p>マーガレット・ユリ 育種 佐藤孝夫</p> <p>花008 マーガレットとハナワギクとの属間雑種におけるカロチノイド成分の遺伝性 ○稲葉善太郎¹・馬場富二夫¹・石井香奈子¹・石井ちか子¹・岸本早苗²・大宮あけみ²(¹静岡農林研伊豆農研セ,²農研機構花き研)</p>	<p>花030 シクラメンの生育・開花に及ぼす日没時短時間加温処理の影響 ○神門卓巳¹・道園美弦²・吾郷宏光³・川村通¹(¹島根農技セ,²農研機構花き研,³島根農大)</p>	<p>花054 Dianthus属のホモログ遺伝子との比較によるカーネーションDeACSlabの起源の推定 ○佐藤茂・孟娜・原田太郎・森田重人(京都府大生命環境科学研究所)</p>	<p>利008 イチゴ保存中の力学特性変化に及ぼすアリルイソチオシアネート製剤(ワサビュア)の影響 ○神山かおる¹・和田有史¹・湯山恵²・小松俊夫²(¹農研機構食総研,²エーグレスサービスセンター)</p>		10:45
<p>野090 寒玉系キャベツ晩秋まき春どり栽培 ○中村剛¹・大辻智子¹・下田透²(¹宮崎畑園支,²宮崎営農支援課)</p>	<p>花009 ユリの種間交雑における花粉・胚嚢および受精卵の染色体倍加のための実気ガス処理 ○高取由佳¹・宮崎雄太¹・大藪榮典¹・岡崎桂一²(¹佐賀農試研セ,²新潟大農学部)</p>	<p>キク1 住友克彦</p> <p>花031 EOD-heating処理がスプレーギクの開花反応および花房形質に及ぼす影響 道園美弦¹・久松完¹・川西孝秀²・島浩二²・柴田道夫¹・大宮あけみ¹(¹農研機構花き研,²和歌山農総技セ農試)</p>	<p>花055 カーネーション切り花の花弁老化における5-アザシチジン処理の影響 ○渋谷健市・仁木朋子・市村一雄(農研機構花き研)</p>	<p>利009 ラズベリー果実の貯蔵性に及ぼす果托付き収穫及びエチレン除去剤の効果 ○張永強・富岡奈月・馬場正・山口正己(東京農大農学部)</p>		11:00
<p>栽培(キャベツ2) 高田敦之</p> <p>野091 加工業務用キャベツの結球肥大期における日取量増加量の推定 ○渡邊圭太・斎藤隆雄・秋山隆(兵庫農総セ)</p>	<p>マーカー分析 田淵俊人</p> <p>花010 形態およびISSR遺伝子分析によるクレマチスの品種分類 ○細木高志・村上理絵・野島幸恵(島根大生物資源科学部)</p>	<p>花032 小ギクにおける耐倒伏性の評価方法 ○渡邊武志¹・仲照史²・田中宏明³・中元陽一³・角川由加²・儀間直哉¹(¹神籠農研セ,²奈良農総セ,³農研機構近中四農研)</p>	<p>花056 脂質リン酸化酵素PI3Kはアサガオの花弁における活性酸素種の増加および老化の抑制に関与する ○篠崎良仁・山田哲也・荻原勲・金勝一樹(東京農大院連合農学研究科)</p>	<p>利010 ‘ヒュウガナツ’における低温貯蔵後の果実品質、選果結果および市場評価 ○武藤浩志・末松信彦・馬場富二夫・石井ちか子・石井香奈子・稲葉善太郎・堀内正美(静岡農林研伊豆農研セ)</p>		11:15
<p>野092 冬まきキャベツ栽培における育苗中節間長のジベレリン感受性およびその収穫時形質との関係 ○大川浩司(愛知農総試東三河農研)</p>	<p>花011 SSRマーカーに基づく常緑性ツツジ九州野生集団の遺伝的構造の解明と園芸品種群との関係 ○宮脇美桜^{1,2}・大澤良²・半田高³(¹高松市立協和中学校,²筑波大院生命環境科学研究所,³明治大農学部)</p>	<p>花033 7～11月咲き小ギクの一斉機械収穫適性から見た品種比較 ○角川由加¹・仲照史¹・儀間直哉²・渡邊武志²(¹奈良農総セ,²沖繩農研セ)</p>				11:30
<p>野093 オープントップチャンパ内試験で観察されたキャベツおよびレタスの1次生産力に及ぼす高炭酸ガス濃度および高温の影響 ○岡田邦彦(農研機構野菜茶研)</p>	<p>花012 DNAマーカーによるサクラ栽培品種のクローン性解析 ○加藤珠理¹・勝本俊雄¹・津田吉晃²・松本麻子¹・吉村研介¹・岩本宏二郎³・吉丸博志¹(¹森林総研,²ウブサラ大EBC,³森林総研多摩)</p>	<p>花034 切り花収穫機の開発とこれを用いた小ギクの一斉機械収穫体系での省力化効果 ○仲照史¹・陶山純²・山本明²・田中宏明³・渡邊武志⁴・平岡美紀¹・儀間直哉⁴・角川由加¹・中元陽一³(¹奈良農総セ,²みのる産業(株),³農研機構近中四農研,⁴沖繩農研セ)</p>				11:45

第2日 9月20日(月・祝) 9:00~10:30

時間	A会場 300 果樹 I	B会場 303 果樹 II	C会場 304 果樹 III	D会場 101号(大講義室) 野菜 I	E会場 201 野菜 II	F会場 301 野菜 III
9:00	<p>カンキツ1 山本雅史</p> <p>果012 着果がウンシュウミカンの CITP遺伝子発現に及ぼす影 響 ○西川美美恵¹・岩崎光徳¹・ 深町浩¹・今井篤¹・野中圭 介¹・矢野拓²・遠藤朋子¹ (¹農研機構果樹研,²大分農 林水研指セ)</p>	<p>ウメ 別府賢治</p> <p>果033 ウメ‘南高’の時期別貯蔵 養分蓄積特性と次年度生育 への利用 ○土田靖久¹・吉原利一²・ 薬師寺博³・城村徳明¹・中 西慶¹・森口幸宣^{1*}(¹和歌 山農総技セ果試うめ研,²電 中研,³農研機構果樹研,⁴和 歌山農総技セ果試)</p>	<p>リンゴ 別所英男</p> <p>果055 青森県のリンゴ園における土 壌化学性と施肥の推移 ○坂本清・齋藤雅人・境谷栄 二・山口紀彦[*]・山崎賢久 (青森産技セ農林総研,青森 県食の安全・安心推進課, 青森産技セ農産加工研^{**})</p>	<p>育種(ナス・ネギ) 執行正義</p> <p>野013 単為結果性ナス品種における 種子生成と温度の関係 ○木下剛仁¹・石橋泰之¹・ 西美友紀¹・中島寿亀¹・齊 藤猛雄²(¹佐賀農試研セ, ²農研機構野菜茶研)</p>	<p>栽培(その他) 吉田俊郎</p> <p>野040 加工用ワサビの超促成栽培技 術の確立 ○廣林祐一・片川聖[*]・日高 輝雄(山口農総技セ)</p>	<p>成分 河端実之</p> <p>野067 低レベルヒ素汚染土壌で栽培 した野菜のヒ素濃度の品目間 差異 ○辻頭光[*]・堀江秀樹(農研 機構野菜茶研)</p>
9:15	<p>果013 ハウスミカン夏枝における花 成遺伝子発現の変動 ○矢野拓¹・松本邦博²・松 原公明³・吉澤栄一⁴・高佐 和成³・山崎礼一⁵・西川美 美恵⁶・遠藤朋子⁶(¹大分 農林水研指セ,²JA全農お いた,³大分県東部振興局, ⁴大分県研究普及課,⁵大分 県中部振興局,⁶農研機構果 樹研)</p>	<p>果034 ウメ‘南高’ムカデ整枝樹へ の痛心和摘葉処理による紅着 色果実の効率的多収生産 ○竹中正好・根来圭一・大 江孝明・三宅英伸(和歌 山農総技セ果試うめ研, ²和歌山工技セ)</p>	<p>果056 リンゴのわい性台樹における改 植時堆肥施用による化学肥料 削減効果 ○船山瑞樹(秋田農技セ果 樹試)</p>	<p>野014 <i>Solanum macrocarpon</i> とナスの 雑種の複二倍体の育成 ○カーン M. M. R.・ハスマ ンナハル M.・一色一郎郎(佐 賀大農学部)</p>	<p>野041 マルチフィルムの種類がエダ マメ子実の全糖含量に及ぼす 影響 ○野口貴・海保富士男・沼 尻勝人(東京農林総研セ)</p>	<p>野068 光質および光強度がブロッコ リースプラウトの生育,抗酸 化能およびグルコシノレート 含有量に及ぼす影響 ○彦坂晶子¹・栗原優香²・ 後藤英司¹(¹千葉大院園芸 学研究所,²千葉大院園芸学 部)</p>
9:30	<p>果014 イソプロチオラン散布がウン シュウミカン‘岩崎早生’の 果皮の着色に及ぼす影響 ○荒牧貞幸(長崎農技セ果 樹)</p>	<p>果035 香りを高めた梅酒加工品の開 発(第1報)ウメ‘南高’果 実の熟度および追熟処理が梅 酒加工品の香気成分に及ぼす 影響 ○大江孝明¹・山崎哲弘²・ 奥井弥生³・岡室美絵子¹ (¹和歌山農総技セ果樹試う め研,²キリンビール(株), ³メルシャン(株))</p>	<p>果057 リンゴの早期みつ症状と果実 内木部機能性ととの関係 ○福田章弘・山田寿(愛媛 大農学部)</p>	<p>野015 数種のネギ属植物(<i>Allium</i> spp.)の葉身およびリン茎に おけるフラボノール含量の 特徴 ○室崇人・嘉見大助・杉山 慶太・篠田浩一(農研機構 北海道農研)</p>	<p>野042 収穫頻度がアシタバの生育お よび収量に及ぼす影響 ○沼尻勝人[*](東京島し農 水総セ,東京農林総研セ)</p>	<p>野069 シャロット由来単一異種染色 体の添加が葉ネギの抗酸化能 に及ぼす影響について ○松本巳紗都[*]・谷口成紀^{1*}・ 伊達梨絵²・原田和樹²・前 田俊道²・山内直樹¹・執行 正義¹(¹山口大農学部,²水 産大学校,(株)トリコン)</p>
9:45	<p>カンキツ2 河合義隆</p> <p>果015 着果負担がカンキツ合成周縁 キメラ‘エクテック65’の糖, フラボノイド,β-クリプト キサンチン含量に及ぼす影響 ○井上久雄¹・隅田孝司²・ 松長崇³・坂部英理子²・藤 原文孝⁴・脇塚巧⁵(¹愛媛 みかん研,²えひめ飲料(株), ³愛媛産技セ,⁴愛媛果樹 研セ,⁵全農えひめ柑橘研)</p>	<p>果036 ウメの自発休眠に関する転 写因子 PmDAM6 の標的因子 の探索 ○上達弘明¹・佐々木隆太¹・ 羽生剛²・山根久代¹・田尾 龍太郎¹・米森敬三¹(¹京 都大院農学研究所,²京都大 院農学研究所附属高槻農場)</p>	<p>果058 リンゴ実生へのUVC照射は ジャスモン酸およびボリアミ ンレベルに影響する ○Fiebig Antje・ Kowitcharoen Laddawan・大 川克哉・小原均・近藤悟(千 葉大院園芸学研究所)</p>	<p>野016 ネギの分げつ性ならびに抽苔 性に関する QTL 解析 ○塚崎光[*]・山下謙一郎・小 島昭夫・若生忠幸(農研機 構野菜茶研)</p>	<p>野043 アイスプラント (<i>Mesembryanthemum</i> <i>crystalinum</i>)の生育,品質 および養分吸収に及ぼすNa の要求性 ○高橋大喜・松本裕史・中 松建・西原英治(鳥取大院 農学研究所)</p>	<p>野070 イチゴおいしきへの瘦果の寄 与度について ○南場芳恵・三好幸恵・李 新賢(アヲハタ(株)フルー ツ加工研)</p>
10:00	<p>果016 環状剥皮したカンキツ果実の 光合成とPEPC活性 ○西村浩志・名田和義・平 塚伸(三重大院生物資源学 研究所)</p>	<p>ニホンナシ1 菅谷純子</p> <p>果037 二次元電気泳動によるニホン ナシの自発休眠覚醒に関与す るタンパク質の解析 ○竹村圭弘¹・黒木克翁²・ 平岡雅広²・田村文男³ (¹鳥取大院連合農学研究所, ²鳥取大院農学研究所,³鳥 取大院農学部)</p>	<p>イチジク 真野隆司</p> <p>果059 イチジク‘蓬萊柿’のH型整 枝の作業性および果実生産性 ○野方仁¹・粟村光男^{1*}・石 橋正文^{1,2}(¹福岡農総試豊 前分場,²福岡農総試,³福岡 県庁)</p>	<p>マーカー 津金胤昭</p> <p>野017 雄性判別DNAマーカーの定 量解析による実用アスバラガ ス超雄性系統の選抜 ○堀内和奈¹・皆川裕一²・ 笠井登¹・増田清¹(¹北海 道大院農学院,²北海道美瑛 町農業技術研修セ)</p>	<p>栄養生理 番 喜宏</p> <p>野044 メタン発酵プラントから生じ た消化液とろ液の施用が根菜 類の生育および収量に及ぼす 影響 ○千吉良敦史・山本二美・ 川上敬志(千葉農林総研セ)</p>	<p>花芽分化等(イチゴ) 森 利樹</p> <p>野071 イチゴにおけるFTおよび ITFL1様遺伝子の発現解析 ○中嶋竜一¹・長屋浩浩²・ 福田至朗²・齊藤弥生子²・ 浅野義行²・松本省吾¹・白 武勝裕¹・山田邦夫¹(¹名 古屋大院生命医学研究所, ²愛知農総試)</p>
10:15	<p>果017 日射制御型拍動自動かん水 装置を用いたかん水がカン キツ‘不知火’の生育に及 ぼす影響 ○森末文徳・吉田純也・阿 部政人(香川農試府中分場)</p>	<p>果038 ニホンナシの果実発育並びに 樹体成長に及ぼすアンミド 処理の影響 ○黒木克翁¹・岡田裕幸²・ 竹村圭弘³・平岡雅広¹・武 田誠⁴・富山政之⁴・田村文 男²(¹鳥取大院農学研究所, ²鳥取大院農学部,³鳥取大院 連合農学研究所,⁴日本カー バイド工業(株))</p>	<p>果060 結果枝の垂下誘引が棚栽培 イチジク‘樹井ドーフィン’ 樹の生育と果実生産に及ぼ す影響 ○細見彰洋・三輪由佳(大 阪環境農林水産総研)</p>	<p>野018 キダチトウガラシ(<i>Capsicum</i> <i>frutescens</i>)系統S3212が有す る極低辛味性に連鎖したマー カーの開発 ○桂川あやな¹・松島憲一¹・ Orapin Saritum²・平井正志³・ 南山泰宏⁴・三村裕⁴・南峰 夫¹・根本和洋¹・千菊夫⁵・ 中島美幸¹(¹信州大院,²信 州大院,³元京都府立大院, ⁴京都農資セ,⁵信州大農学部)</p>	<p>野045 ホウレンソウの成長と品質に 及ぼすグルタミン施与の影響 ○川久保理恵・名田和義・ 永田憲司・平塚伸(三重大 院生物資源学研究所)</p>	<p>野072 間欠冷蔵処理によるイチゴ ‘女峰’の花芽分化促進(第2 報)処理効果の年次変動 ○尾崎英治¹・吉田裕一^{1,2} (¹岡山大院自然科学研究所, ²(有)のぞみふぁーむ)</p>

G会場 401 野菜IV	H会場 200 花きI	I会場 204 花きII	J会場 201 花きIII	K会場 401 利用I	L会場 404 利用II	時間
<p>栽培(トマト1) 北 宜裕</p> <p>野 094 ポリエチレン袋密封処理した トマト残さの経年施用による トマト土壌病害の発生推移 ○草川知行・小塚玲子(千葉 農林総研セ)</p>	<p>成分・色・香り 山岸真澄</p> <p>花 013 強香性花きに対する香り抑制 剤の効果 ○大久保直美・岸本久太郎・ 中山真義(農研機構花き研)</p>	<p>キク2 大石一史</p> <p>花 035 夜蛾類の飛翔行動抑制に有効 な黄色パルス光が秋ギクの発 蕾および開花に及ぼす影響 ○石倉聡¹・山下真一¹・平 間淳司²・野村昌史³・尹丁 梵³・東浦優⁴・二井清友⁴・ 山中正仁⁴(¹広島総研農技 セ,²金沢大工学部,³千葉大 大学院園芸学研究所,⁴兵庫農総 セ)</p>		<p>抗酸化・機能性 園師一文</p> <p>利 011 抗酸化能におけるブラッド オレンジ‘タロッコ’の品 種特性 ○伊藤史朗¹・山本和博¹・ 石々川英樹¹・森重陽子¹・ 毛利幸喜²・小西出(三上) 一保³・石川(高野)祐子³ (¹愛媛農水研,²愛媛産業振 興課,³食総研)</p>		9:00
<p>野 095 摘果に伴うシンク能の変化が 日本およびオランダトマトの 生育に及ぼす影響 ○安東赫¹・中野明正¹・松 田恰²・東出忠桐¹・鈴木克 己¹・高市益行¹(¹農研機 構野菜茶研,²東京大)</p>	<p>花 014 <i>Pelargonium</i> 属 <i>Hoarea</i> 節植物 の黄色花弁におけるカロテ ノイドおよびアントシアニ ン分析 ○ Sukhumpinij, P.¹・ K., Hondo²・F. Kakihara² (¹愛媛連大農学研究所,²愛 媛大農学部)</p>	<p>花 036 キク神馬と岩の白扇の花芽 分化に対する 660nm および 730nmLED 照射の影響 福井博一¹・寧易²・○小笠 原利恵¹・嶋津光鑑¹・宇野 洋³・佐々木修³・植竹雅彦⁴ (¹岐阜大応用生物科学部, ²中国熱帯農業科学院,³前田 硝子(株),⁴(株)シバサキ)</p>		<p>利 012 熱および冷処理が富有柿の抗 酸化システムに及ぼす影響 ○張奕¹・中野浩平^{1,2}・前澤 重禮^{1,2}(¹岐阜大院連合農学 研究所,²岐阜大応用生物科 学部)</p>		9:15
<p>野 096 トマトの果梗への物理的処理 が裂果発生に及ぼす影響 ○鈴木克己¹・木村一郎²・ 河崎靖¹・安場健一郎¹・東 出忠桐¹・高市益行¹(¹農 研機構野菜茶研,²山口農林 事務所)</p>	<p>花 015 キンギョソウにおけるアント シアニン合成系遺伝子発現 に及ぼす高温の影響 ○市村一雄・仁木朋子・中 山真義(農研機構花き研)</p>	<p>花 037 キク花成の暗期中断反応にお けるフィトクロームの関与お よび分光感度 ○住友友彦¹・樋口洋平¹・ 小田篤¹・青木敏¹・山田 真²・石渡正紀²・鳴海貴 子³・深井誠³・久松完¹ (¹農研機構花き研,²パナソ ニック電工(株),³香川大 農学部, 愛知農総試東三河 農研)</p>		<p>利 013 発表取り消し</p>		9:30
<p>野 097 温風ダクト吊り下げによるト マトの花房一生長点局所加温 ○河崎靖・鈴木克己・安場 健一郎・高市益行(農研機 構野菜茶研)</p>	<p>遺伝子解析1 西島隆明</p> <p>花 016 オリエンタルハイブリッドユ リ花被片においてアントシ アニン合成を制御している <i>R2R3-MYB</i> 遺伝子 ○山岸真澄(北海道大院農 学研究院)</p>	<p>バラ 福井博一</p> <p>花 038 バラの折り曲げ枝下方からの 補光が切り花本数および形質 に及ぼす影響 ○梶原真二・石倉聡・原田 秀人・福島啓吾(広島総技 研農技セ)</p>		<p>栽培条件 浜本 浩</p> <p>利 014 油汚染土壌下で初期生育が優 れる花弁の選定 ○川崎勇¹・宮尾辰也¹・三 宅紗代¹・松浦大地¹・玉置 雅彦¹・海見悦子²(¹明治大 農学部,²中外テクノス(株))</p>		9:45
<p>栽培(トマト2) 鈴木克己</p> <p>野 098 低段・多段組合せ栽培による トマト安定多収栽培技術体系 の開発 ○廣瀬一郎¹・北宜裕¹・杉 山隆行²・保谷明江¹・北浦 健生¹・丸尾達³(¹神奈川 農技セ,²JA横浜管内生産者, ³千葉大院)</p>	<p>花 017 <i>Chalcone synthase</i> 遺伝子の構 造から示されるベチュニア園 芸品種と原種との関係 ○森田裕将¹・安藤敏夫²・ 中山真義¹(¹農研機構花き 研,²千葉大院園芸学研究所)</p>	<p>花 039 異なる室温条件がバラの株元 加温の生産性および切り花品 質等に及ぼす影響 ○原靖英¹・柳下良美¹・渡 辺茂¹・深山陽子¹・小泉明 嗣¹・腰岡政二²・窪田聡²・ 畔柳武司³・馬場勝⁴・山元 恭介¹(¹神奈川農技セ,²日 本大生物資源科学部,³農研 機構近中四農研,⁴(株)ネ ボン)</p>		<p>利 015 秋播き性へアリーベッチおよ びナギナタガヤの春播きよ る抑草効果の検討 ○野村卓史¹・朴昭英²・中 谷敦子³・八巻良和⁴・山根 健治⁴・藤井義晴²・米山弘 一¹(¹宇都宮大雑草科学研 究セ,²農環研,³中央農研, ⁴宇都宮大農学部)</p>		10:00
<p>野 099 摘果処理が異なる栽植密度条 件下で栽培したトマト‘レバ ン’ならびに‘麗容’の果 実収量に及ぼす影響 ○松岡瑞樹¹・渡部伸也²・ 牧野謙太¹・齋藤岳士¹・松 倉千昭¹・福田直也¹ (¹筑波大院生命環境科学研 究科,²筑波大生物資源学類, (株)オリザ鹿児島ファーム)</p>	<p>花 018 ベチュニア花冠における網目 模様形成に関する遺伝子 ○武永充正¹・松原紀嘉²・ 國分尚²・安藤敏夫¹(¹千 葉大院園芸学研究所,²千葉 大環境健康フィールド科セ)</p>	<p>花 040 イミダクロプリド散布がバ ラの夏季収量・品質に及ぼ す効果 ○佐藤展之・興津敏広(静 岡農林技研)</p>		<p>利 016 竹炭たい肥の有効利用研究成 果(第1報) トウガラシ、イ チゴ等への施用効果 ○渡辺郁夫¹・原昌久¹・辻 本正直²・池田佳央²(関西 電力(株)電力技術研究所, ²(株)環境総合テクノス)</p>		10:15

第2日 9月20日(月・祝) 10:30～12:00

時間	A 会場 300 果樹 I	B 会場 303 果樹 II	C 会場 304 果樹 III	D 会場 101号(大講義室) 野菜 I	E 会場 201 野菜 II	F 会場 301 野菜 III
10:30	果 018 カンキツ 'はるみ'における 晩秋季の土壤水分保持が果実 品質に及ぼす効果 ○塩田俊・赤阪信二(広島 総研農技セ)	果 039 ニホンナシにおける自発休眠 期の品種および地域間差異 ○平岡雅広 ¹ ・須藤幸子 ¹ ・ 田村文男 ² ・松本和浩 ³ ・松 本辰也 ⁴ ・藤川和博 ⁵ ・稲富 和弘 ⁶ ・加久るみ子 ⁷ (¹ 鳥 取大院農学研究科, ² 鳥取大 農学部, ³ 弘前大農学生命科 学部, ⁴ 新潟農総研園研セ, ⁵ 鹿児島農総セ果樹北産, ⁶ 佐賀果樹試験, ⁷ 熊本農研セ)	果 061 イチジク一文字整枝における 接ぎ木樹と自根樹の晩霜被害 について ○井上義章 ¹ ・野方仁 ¹ ・石 橋正文 ² (¹ 福岡農総試豊前 分場, ² 福岡農総試)	野 019 丹波黒大豆系エダマメ品種 '紫ずきん'へのSMV抵抗 性付与を目的としたDNA マーカーの開発 ○南山泰宏・古谷規行・小 坂能尚(京都農技セ生資研 セ)	野 046 異なる育苗条件下での初殻く ん炭の覆土が葉菜類の苗の生 育と培地中の無機態窒素量に 及ぼす影響 ○佐藤文生 ¹ ・唐澤敏彦 ² ・ 加藤直人 ² (¹ 農研機構野菜 茶研, ² 農研機構中央農総研)	野 073 体細胞突然変異がイチゴの奇 形果発生に関与する可能性に ついて ○吉田裕一(岡山大院自然 科学研究科)
10:45	カンキツ3 山田 寿 果 019 冬～春季の乾燥がレモンの 着果および果実品質に及ぼ す影響 ○赤阪信二 ¹ ・塩田俊 ¹ ・根 角博久 ² (¹ 広島総研農技セ, ² 近中四農研)	果 040 鹿児島県における7.2℃以下 の積算時間の変動と分布 ○藤川和博・川原秀之・東 明弘(鹿児島農総セ果樹北 産)		野 020 メロンうどんこ病抵抗性に連 鎖した新規DNAマーカーの 開発 ○平本哲也・千葉拓哉・泉 田敦・勝又憲一・鈴木隆夫 (株)サカタのタネ)	野 047 活性炭を利用したキュウリの POPs吸収抑制技術に関する 研究(第1報) 施用量決定法 の検証 ○遠藤昌伸 ¹ ・中野潔 ¹ ・中 野耕栄 ¹ ・清家伸康 ² ・大谷 卓 ² (¹ 新潟農総研園研セ, ² 農環研)	野 074 夏秋どりイチゴ果実の発育に 伴う果実硬度およびペクチン 質組成の変化 ○今森久弥・二本智・瀬戸 薫・鈴木卓・鈴木正彦・川 村周三(北海道大院農)
11:00	果 020 ウンシュウミカンとレモン 果実の培養砂じょうにおける 糖・酸含量の比較 ○佐藤優賢・清水裕紀・向 井啓雄・八幡昌紀・原田久・ 高木敏彦(静岡大農学部)	ニホンナシ2 田村文男 果 041 ニホンナシの側枝基部へのく さび処理による側枝更新技術 の検討 ○大谷義夫 ^{1,3} ・八巻良和 ² (¹ 栃木農試, ² 宇都宮大農学 部, ³ 東京農工大院連合農学 研究科)		遺伝資源・着果(スイカ) 齊藤猛雄 野 021 ベトナム北部から収集したキ ュウリ遺伝資源の細胞遺伝学 および生化学的特性について ○松下竜一 ¹ ・久馬千明 ¹ ・ ヌウエンティハ ² ・ブウ クエンホア ³ ・トランティ ミンハン ² ・山内直樹 ¹ ・ 執行正義 ¹ (¹ 山口大農学部, ² ハノイ農業大, ³ 鳥取大院 連合農学研究科)	病害虫 佐藤文生 野 048 ダイコンひげ根黒変症の発生 に品種およびメタラキシル粒 剤処理が及ぼす影響 ○町田剛史・大塚英一・吉 田俊郎(千葉農林総研セ)	栽培(イチゴ1) 吉田裕一 野 075 イチゴ促成栽培における半閉 鎖型ハウスの有効性 ○加納賢三・喜古歩((株) 誠和)
11:15	果 021 天然型アブシジン酸の土壤散 布がウンシュウミカンの果実 品質に及ぼす影響 ○河合義隆 ¹ ・岡本真依 ¹ ・ 藤澤弘幸 ¹ ・青木隆 ² (¹ 東京農大農学部, ² 神奈川 農技セ)	果 042 樹体ジョイント仕立てによる ニホンナシ'幸水'の超早期 成園化技術の開発 ○柴田健一郎・関達哉・曾 根田友暁・小林正伸(神奈 川農技セ)		野 022 世界各地から収集されたニン ニク遺伝資源における化学成 分の特性について ○平田翔・松下竜一・山内 直樹・執行正義(山口大農 学部)	野 049 砂地土壌での低濃度エタノール 処理によるキュウリのネコ ブセンチュウ防除 中村靖弘・吉田俊郎・小 林理・横山とも子・武田藍 ・鈴木達哉・大木浩(千葉農 林総研セ)	野 076 イチゴ促成栽培における葉面 積指数に基づいた葉数管理が 生育および収量に及ぼす影響 ○喜古歩・加納賢三((株) 誠和)
11:30		果 043 ニホンナシ'幸水'ジョイン ト仕立て樹における主幹切断 時期が生育および収量に及ぼ す影響 ○関達哉・柴田健一郎・曾 根田友暁・小林正伸(神奈 川農技セ)		野 023 スイカにおける軟X線照射花 粉授粉時の受粉状況が果実形 質に及ぼす影響 ○山根信三 ¹ ・西野隆志 ¹ ・ 谷村佳則 ¹ ・尾形凡生 ¹ ・濱 田和俊 ¹ ・杉山慶太 ² (¹ 高 知大農学部, ² 農研機構北海 道農研)	野 050 キュウリ栽培における低濃度 エタノールを利用したネコブ センチュウ防除効果 ○北宜裕・廣瀬一郎・植草 秀敏・折原紅子・北浦健生 (神奈川農技セ)	野 077 イチゴ移動式高設栽培システ ムの開発と栽培実証 ○鶴山浄真 ¹ ・日高輝雄 ¹ ・ 小山寛史 ^{1,2} ・鹿嶋英一郎 ² (¹ 山口農総技セ, ² (株)サ ンボリ,下関農林事務所)
11:45				野 024 着果枝の加温はスイカ果実の 糖集積を促進する ○加納恭卓 ¹ ・青木佑介 ¹ ・ 真館辰弥 ¹ ・池下洋一 ² (¹ 石川県立大生物資源環境 学部, ² 石川県農研セ)	野 051 高R:FR蛍光灯下での育苗は キュウリのうどんこ病耐性を 向上させる 渋谷俊夫 ¹ ・板垣芳 ² ・東 條元昭 ¹ ・遠藤良輔 ¹ ・北宅 善昭 ¹ (¹ 大阪府大院生命環 境科学部, ² 大阪府大生命環 境科学部)	野 078 イチゴ局所加温用テーパーヒ ーターの開発と実用化に関する 研究(第1報) 試作したテ ーパーヒーターによる局所加温が イチゴの生育に及ぼす影響 鶴山浄真 ¹ ・日高輝雄 ¹ ・ 木宮康雄 ² ・岡田豊 ³ ・山田 健仁 ⁴ (¹ 山口農総技セ, ² 中 國工業(株), ³ 新立電機 (株), ⁴ 徳山高専)

第2日 9月20日(月・祝) 10:30～12:00

G会場 401 野菜Ⅳ	H会場 200 花きⅠ	I会場 204 花きⅡ	J会場 201 花きⅢ	K会場 401 利用Ⅰ	L会場 404 利用Ⅱ	時間
<p>野 100 アルカリ性塩類ストレス下の トマトにおける果実固形分の 蓄積 ○Jan Noor Elahi・河鱈実之 (東京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>遺伝子解析2 大宮あげみ 花 019 ベチュニアの大輪品種におけ る内生サイトカイニン濃度の 低下の要因 ○西島隆明・仁木智哉・仁 木朋子(農研機構花き研)</p>	<p>トルコギキョウⅠ 佐藤武義 花 041 トルコギキョウ冬出し栽培に おける夜温10℃での日中加温 と発蕾期以降の長日処理が開 花と切り花品質に及ぼす影響 ○工藤陽史¹・山口茂¹・福 田直子²・深井誠³(¹熊 本農研セ,²農研機構花き研, ³香川大農学部)</p>		<p>利 017 静電微粒子水がイチゴ果実の スクロース生成に及ぼす影響 ○古川一¹・井下美桃子²・ 辻本かほる²(¹大阪府立大 院生命環境,²パナソニック (株))</p>		10:30
<p>野 101 日射量がトマトの果実肥大お よび果実へのスクロースフラ クセスに及ぼす影響 ○和田光生・西浦芳史・古 川一・岡本陽平(大阪府大 院生命環境科学研究科)</p>	<p>花 020 シロイヌナズナ由来 TCP3SRDX 遺伝子導入がト レニアの花弁形態形成関連遺伝 子発現に及ぼす影響 ○鳴海貴子^{1*}・田中豊彦¹・ 間電太郎²・小山知嗣^{3**}・ 高木優³・大坪憲弘²・深井 誠¹(¹香川大農学部, ²農研機構花き研,³産総研・ 生物プロセス、京都大院生 命科学研究科)</p>	<p>花 042 高照度・低二酸化炭素条件が トルコギキョウのプラスチン グに与える影響 ○牛尾亜由子・福田直子・ 川勝恭子(農研機構花き研)</p>		<p>利 018 根域への赤色および青色光照 射が根系発達と地上部形態に 及ぼす影響 ○木村龍典・玉置雅彦(明 治大院農学研究科)</p>		10:45
<p>栽培(ピーマン他) 松島憲一 野 102 トマトの台木培養による不定 芽形成の促進 ○箕作和彦・廣瀬亮平・山 崎識知・田中秀幸・手塚孝 弘・小田雅行(大阪府大院 生命環境科学研究科)</p>	<p>花 021 キクタニギクから単離した FT/Hd3a 相同遺伝子 CsFTL3 の機能解析 ○小田篤¹・鳴海貴子²・深 井誠²・久松完¹(¹農研 機構花き研,²香川大農学部)</p>	<p>花 043 低照度短日条件によるトルコ ギキョウのプラスチングに対 する BA、GA₃ 処理の効果及 び内生サイトカイニンの消長 ○福田直子・西島隆明・牛 尾亜由子・川勝恭子(農研 機構花き研)</p>		<p>園芸療法・昆虫・歴史 位田晴久 利 019 園芸療法の客観的評価の確認 が参加学生の感情改善に及ぼ す影響 ○小浦誠吾¹・Steven M. Snyder²・押川武志¹・小川 敦之¹(¹九保大保健科学部, ²九保大社会福祉学部)</p>		11:00
<p>野 103 ピーマン接ぎ木栽培に関する 研究(第5報)接ぎ木時の 根の有無および定植苗齢が生 育、収量に及ぼす影響 ○壹岐怜子¹・關半田真作²・ 力武弘¹・黒木利美¹・渡司 照久¹・白木巴蔵¹(¹宮崎 総農試,²宮崎農産園芸課)</p>	<p>花 022 次世代シークエンサーを利用 したトルコギキョウの花 における cDNA データベー スの構築 ○宮本健太郎・新居加恵子・ 河鱈実之(東京大院農学生 命科学研究科)</p>	<p>トルコギキョウⅡ 福田直子 花 044 トルコギキョウの切り戻し処 理による新作型の開発(第1 報)切り戻し処理の方法と 11～12月出荷技術 ○田中博一・角忠通・藤本 順子(鳥根農技セ)</p>		<p>利 020 エキウム属植物のセイヨウミ ンバチ養蜂における可能性 ○三甲野祥子・土橋豊(甲 子園短大生活環境学科)</p>		11:15
<p>野 104 パブリカの夏秋栽培における 遮光資材の秋期以降の継続展 張が障害果軽減に及ぼす影響 ○古野伸典・伊藤聡子(山 形庄内農技普課産地研)</p>		<p>花 045 トルコギキョウの高昼温低夜 温管理 ○吉松修治・渡邊英城*(大 分農林水産研セ、大分農林 水産部園振室)</p>		<p>利 021 大分出身の江戸農学者大藏永 常に関する研究 田中孝幸(東海大農学部)</p>		11:30
		<p>花 046 ヒートポンプを用いたハイブ リッド暖房によるトルコギ キョウの春夏出し栽培の暖房 費削減 ○佐藤武義¹・酒井友幸¹・ 永峯淳一¹・齋藤克哉²・伊 藤政憲¹(¹山形農総研セ園 試,²山形病害虫防除所)</p>				11:45

第2日 9月20日(月・祝) 13:00～13:45

時間	A会場 300 果樹 I	B会場 303 果樹 II	C会場 304 果樹 III	D会場 101号(大講義室) 野菜 I	E会場 201 野菜 II	F会場 301 野菜 III
13:00				栽培(ナス) 木下剛仁 野 025 夏秋期における単為結果性ナス「あのみり」の栽培方法の検討 ○濱登尚徳 ^{1,2} ・長谷川雅明 ^{1*} ・齊藤猛雄 ³ (¹ 新潟農総研園研セ, ² 新潟大院自然科学研究科, ³ 農研機構野菜茶研, ⁴ 新潟農総研高農技セ)	発芽・育苗 名田和義 野 052 蛍光灯下で育苗したキュウリの光合成特性 ○渋谷俊夫 ¹ ・林伸明 ² ・遠藤良輔 ¹ ・北宅善昭 ¹ (¹ 大阪府大院生命環境科学, ² 大阪府大生命環境科学部)	栽培(イチゴ2) 柳 智博 野 079 イチゴひな壇2段高設栽培における栽培槽の位置が作業性と収量・品質に及ぼす影響 ○井上恵子 ¹ ・北島伸之 ² ・佐藤公洋 ³ (¹ 福岡農総試, 経営技術支援課, ³ 南筑後普及センター)
13:15				野 026 黒色液状マルチが半促成栽培ナスの生育, 収量および地温に及ぼす影響 ○鈴木敏征(大阪環農水総研)	野 053 オクラ種子出芽を促進する培養土ブライミング ○高畑健・川本芳樹・庄子修平・峯洋子・三浦周行(東京農大農学部)	野 080 イチゴ「大分3号」の苗質, 定植後の生育が生育, 収量に及ぼす影響 ○佐藤如 ¹ ・安部貞昭 ¹ ・畑山とも子 ² ・戸井田雄一 ¹ (¹ 大分農林水産研指セ, ² 園芸振興室)
13:30				野 027 促成ナスの施設内温度管理方法と株元加温が収量に及ぼす効果 ○奥幸一郎 ¹ ・森山友幸 ² ・小熊光輝 ¹ ・黒岩善治 ³ ・伏原肇 ³ (¹ 福岡農総試, ² 福岡農総試筑後, ³ (株)Zen)	野 054 サニーレタスにおける育苗時の青色光照射が苗質および定植後の収量に及ぼす影響 ○淨閑正史・庄子和博・後藤文之・橋田慎之介・吉原利一(電中研)	野 081 一季成り性F ₁ イチゴにおける花成誘導期の生育と頂花房出蕾の関係 ○深尾聡・石川正美・深見正信・前田ふみ・大泉利勝(千葉農林総研セ)

第2日 9月20日(月・祝) 13:00～13:45

G会場 401 野菜Ⅳ	H会場 200 花きⅠ	I会場 204 花きⅡ	J会場 201 花きⅢ	K会場 401 利用Ⅰ	L会場 404 利用Ⅱ	時間
						13:00
						13:15
						13:30